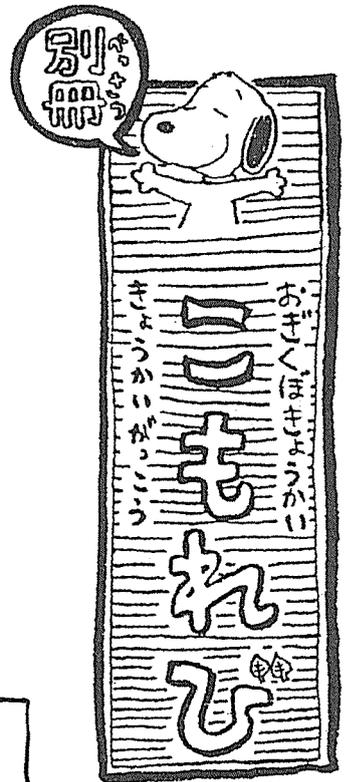


# 信仰年始まる



265  
バネディクト16世  
教皇

全世界のカトリック教会は、教皇ベネディクト16世の呼びかけにこたえて、10月11日(木)からの約一年間を「信仰年」として、心ひとつに過ごすことになりました。



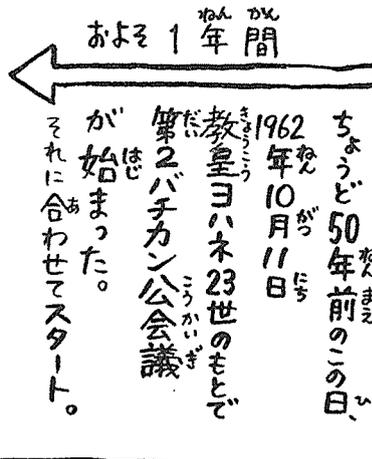
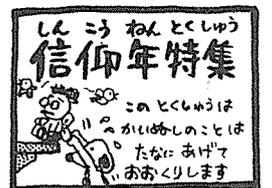
10月11日(木) 7時 荻窪教会 信仰年開始の記念ミサ

東京教区・信仰年開始記念ミサは 10月14日(日) カテドラルで10時～ 岡田大司教 司式

2012年10月号

別冊

発行元: スヌ校長



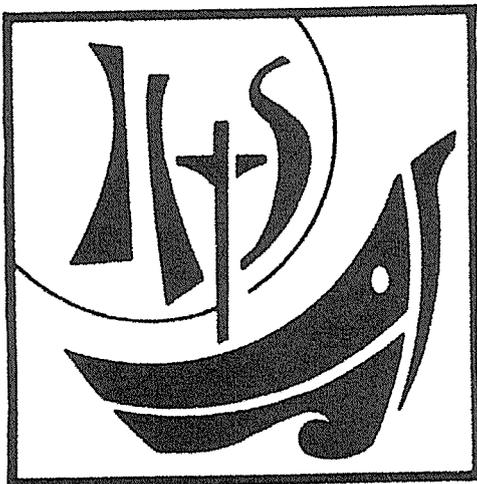
2012年10月11日(木)から



2013年11月24日(日)

《王であるキリスト》の祭日

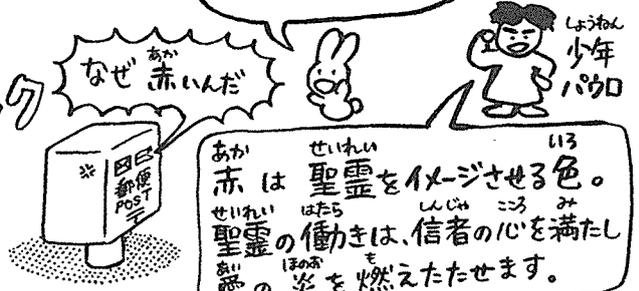
典礼暦(教会カレンダー)で、2013年度最後の主日(日曜日)。



ANNO DELLA FEDE 2012 2013

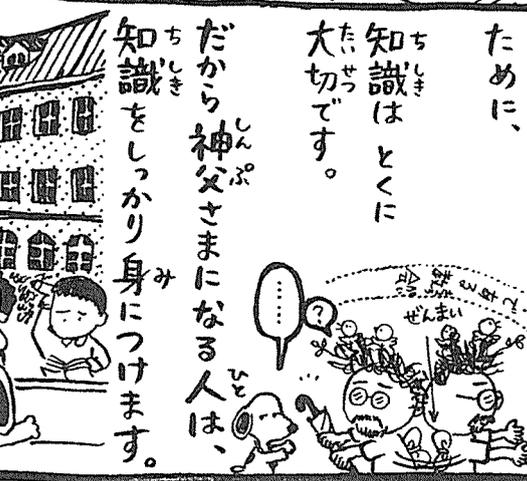
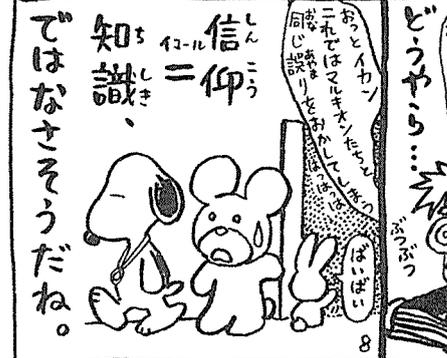
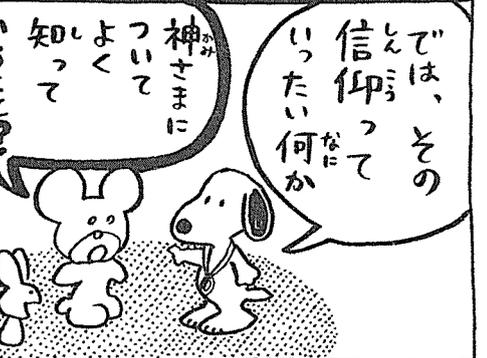
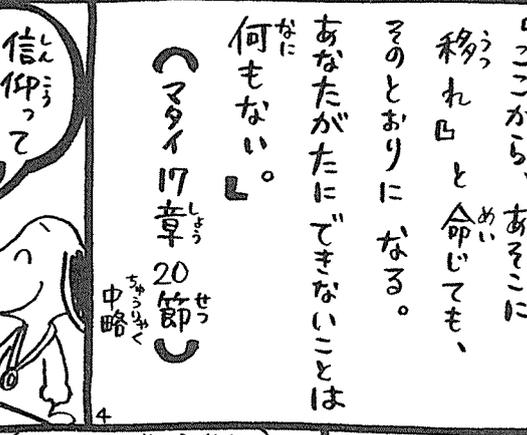
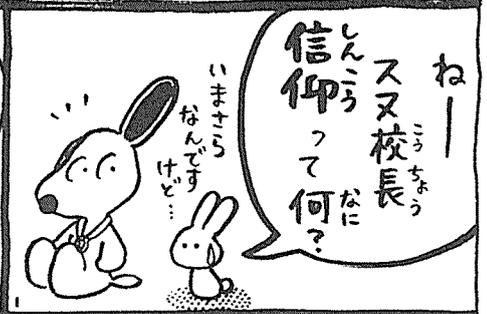
信仰年 公式ロゴマーク

ホトは赤いよ



赤は聖霊をイメージさせる色。聖霊の働きは、信者の心を満たし愛の炎を燃え立たせます。

波の上をすすむ船は、この世をわたる教会です。十字架のマストと3枚の帆が IHS (イエスの御名) を形づくり、後方の円(太陽)は、ご聖体のイメージだそうです。





20  
 信仰の道に入れば  
 ご利益があるとか  
 いうものではありません。  
 天上にはなく  
 地に積むもの  
 天に積むもの  
 ではありません。  
 (マタイ6章20節)

21  
 いただいた恵みは  
 自分だけのためでは  
 ありません。  
 分かち合います。  
 信仰の林は  
 ひとり林では  
 ありません。  
 主のみわざが輝きます。  
 五つのパンと二匹の魚で、主は  
 五千人を満たされたのです。  
 (マルコ6章30-44節)



22  
 キリストの道も  
 キリストとともに、  
 教会との交わりのうちに  
 歩むとき、  
 聖霊が  
 わたしたちの  
 信仰を  
 強めて  
 くださいます。  
 たとえ  
 神の沈黙に  
 悩んでも  
 十字架の  
 キリストが  
 共にいて、  
 勝利を約束して  
 くださることが、  
 信仰によってわかります。

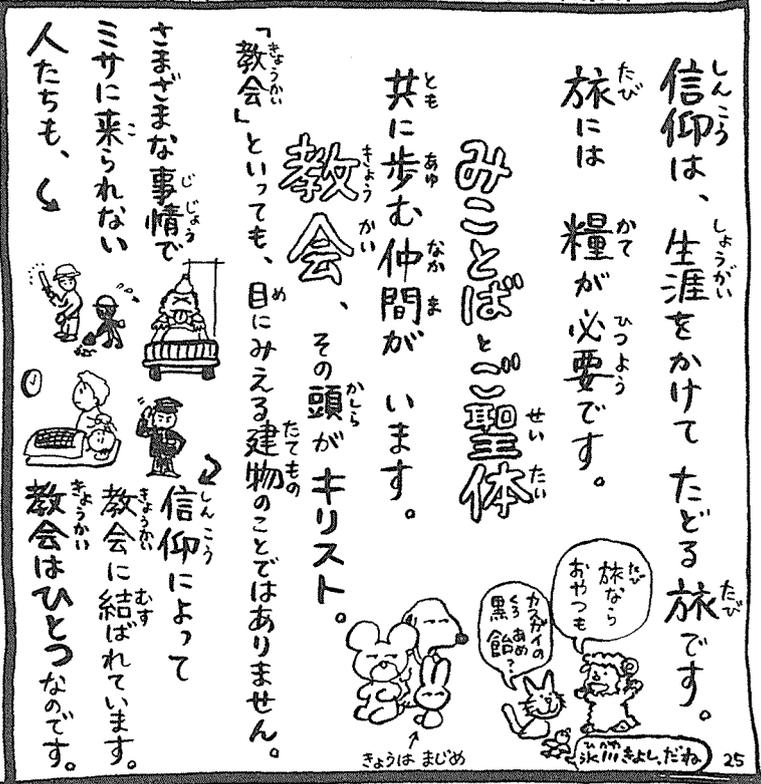


23  
 赤ちゃんだったときや、  
 まだ小さな子どもの頃に  
 洗礼を受けた人。  
 どんなことがあっても  
 打ちのめされることなく、  
 力強く歩めるように  
 お父さんやお母さんは  
 いちばん大切なものを  
 与えてくれました。  
 家族そろって  
 イエスさまに  
 つながっている。  
 そして教会も、  
 神の家族です。  
 うれしいおめぐみ



24  
 わたしたちを  
 祝福で満たし、  
 主の平和のうちに、  
 それぞれの場へと  
 派遣します。  
 家庭で  
 学校で  
 職場で  
 わたしたちは  
 福音を  
 体験するのです。  
 ITE!  
 MISSA EST.  
 DEO GRATIAS!!

25  
 信仰は、生涯をかけてたどる旅です。  
 旅には糧が必要です。  
 共に歩む仲間がいます。  
 教会、その頭がキリスト。  
 「教会」といっても、目に見える建物のことではありません。  
 さまざま事情で  
 ミサに来られない  
 人たちも、  
 信仰によって  
 教会に結ばれています。  
 教会はひとつなのです。  
 林が  
 おか  
 黒い  
 林が  
 おか  
 黒い



「信じる喜びが、ただの知的な喜びにすり替わると、『評論家』になってしまふ。」

キリストの  
みあとに  
したがいましう。

〇〇神父様の  
黙想会は  
すばらしい。

無知な  
人たちが  
まったく  
信仰の  
実りである  
愛から  
遠ざがって  
はいけません。

「洗れ受けるまでは勉強したけど、いつも謙虚でいまいしう。」

信じる喜びが、ただの知的な喜びにすり替わると、『評論家』になってしまふ。

28

「これって信仰が足りないから？」

いいえ

「でも、ことばでうまく説明できません。」

「神さま大好き。でも、ことばでうまく説明できません。」

「神さま大好き。でも、ことばでうまく説明できません。」

「疑いのなかには知識や議論によって解決されるものもありませんが、あります。」

「忍耐と信頼の奥に答えが示されることもあつていしう。」

「神さま大好き。でも、ことばでうまく説明できません。」

「神さま大好き。でも、ことばでうまく説明できません。」

「あなたに光を輝かす人々の前に輝かしなさい。」

「あなたに光を輝かす人々の前に輝かしなさい。」

「あなたに光を輝かす人々の前に輝かしなさい。」

「あなたに光を輝かす人々の前に輝かしなさい。」

「主を仰ぎ見る人は光と輝きます。」

「主を仰ぎ見る人は光と輝きます。」

「主を仰ぎ見る人は光と輝きます。」

「主を仰ぎ見る人は光と輝きます。」

「わたしたちひとりひとりにも、主との出会いがあり、大切な宝物です。」

「わたしたちひとりひとりにも、主との出会いがあり、大切な宝物です。」

「わたしたちひとりひとりにも、主との出会いがあり、大切な宝物です。」

「わたしたちひとりひとりにも、主との出会いがあり、大切な宝物です。」

「聖書は、信仰に生きる人の喜びや熱意、だけがなく、失敗、迷い、戸惑い、嘆き、すべてを描き、わたしたちを教えています。」

「聖書は、信仰に生きる人の喜びや熱意、だけがなく、失敗、迷い、戸惑い、嘆き、すべてを描き、わたしたちを教えています。」

「聖書は、信仰に生きる人の喜びや熱意、だけがなく、失敗、迷い、戸惑い、嘆き、すべてを描き、わたしたちを教えています。」

「聖書は、信仰に生きる人の喜びや熱意、だけがなく、失敗、迷い、戸惑い、嘆き、すべてを描き、わたしたちを教えています。」

「信仰年という恵みの年、わたしたちが信仰の恵みを深く味わい、日々の生活でキリストとの新たな出会いに気づくことが出来ますように。」

「信仰年という恵みの年、わたしたちが信仰の恵みを深く味わい、日々の生活でキリストとの新たな出会いに気づくことが出来ますように。」

「信仰年という恵みの年、わたしたちが信仰の恵みを深く味わい、日々の生活でキリストとの新たな出会いに気づくことが出来ますように。」

「信仰年という恵みの年、わたしたちが信仰の恵みを深く味わい、日々の生活でキリストとの新たな出会いに気づくことが出来ますように。」

教皇ベネディクト16世 PORTA FIDEI

自発教令『信仰の門』  
—「信仰年」開催の告示  
(カトリック中央協議会)



……で、信仰年って何をするの？

① 教会の教えをよく知ろう

理論の勉強  
教会の中に生きておられる主と出会うことですよ

②

教会のあゆみに学ぼう

信仰の歴史は  
神秘に満ちています

③

愛に生きる人になる

行いが伴わない信仰はそれだけでは死んだもの



愛がなければ、信仰に実りはありません。

教会とひとつになって信仰の恵みを

◎ 理解し、信仰を告白するために大切なこと。  
◎ 典礼と秘跡は信仰告白の力の源。  
◎ ミサで信仰の恵みを深く味わいましょう。  
◎ 一日一日の歩みが、信仰と典礼と祈りに結ばれたものとなるように。



教皇さまが呼びかけておられることを  
ス又校長なりに まとめてみました。  
だいたい こんなことだと思えます。

◎ キリストに結ばれ、成長してきた教会の聖性。  
◎ そして、罪のことも。罪はひとりひとりにいつも回心を求め、神さまの豊かなあわれみを体験させます。  
◎ すべての御父のみ旨にゆだねたマリアさまの生涯、主のご復活の証人となった使徒たちのあゆみ、共に祈り、もちものを分かち合い、助け合った初代教会、いのちをかけて福音を証した殉教者……。  
わたしたちも同じ信仰に生きています。

教皇さまのすすめにしたがって  
わたしたちができること  
これから一緒に考えよう

右は いずれも  
カトリック中央協議会が  
発行しています  
amazon.co.jp などでも入手可



カトリック教会のカテキズム要約  
問答形式になっています。352頁!



カトリック教会のカテキズム  
体系的に教理を解説。872頁!



聖なる父よ、わたしたちは

あなたを たたえます。

あなたは偉大な方、

英知と愛によって

すべての業を行われました。

ご自分にかたどって人を造り、

造り主であるあなたに任せ、

造られたものをすべて支配するよう、

全世界を人の手に おゆだねになりました。

人があなたにそわいて

親しい交わりを失ってからも、

死の国に見捨てることなく、

すべての人があなたを求めて

見いだすことが、できるように、

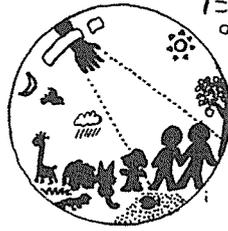
いつくしみの手をさしのべられました。

また たがたが人と契約を結び、

預言者を通して、

救いを待ち望むように

励まして くださいました。



時が満ちて、あなたはひとり子を

わたしたちに 救い主として

お遣わしになりました。

聖なる父よ、あなたはこれほど

世を愛してくださったのです。

御ひとり子は聖霊によって人となり、

おとめマリアから生まれ、

罪のほかは、すべてにおいて

わたしたちと同じように 生活し、

悲しむ人には喜び、

とらわれ人には自由、

貧しい人には救いの福音を生おけ、

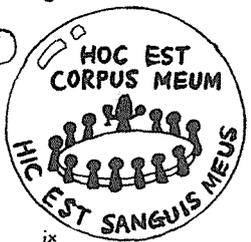
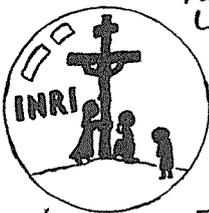
あなたの計画を実現するため

死に身をゆだね、

死者のうちから復活して

死を滅ぼし、

いのちを新しくしてくださいました。



わたしたちが自分に生きるのではなく、

わたしたちのために死んで復活された

キリストに生きるために、

父よ、子は 信じる者に

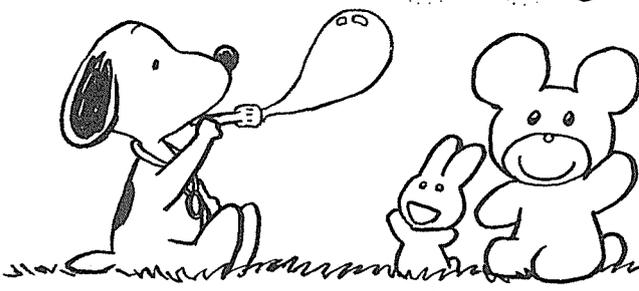
最初のたまものとして

あなたのもとから 聖霊を遣わし、

聖霊は、世にあってその業を全うし、

すべてを とうといものになさいませう。

ミサのことは  
第四奉獻文より



おぎほきょうかい  
**カトリック萩聖教会** 〒168-0072 杉並区高井戸4-18-13  
 TEL 03-3334-8216 (FAX-8261)  
 主任司祭... 岸 忠雄 神父 主日のミサ... 7:30~ / 10:00~  
**きょうかいがらこり** ... 毎月 第1・第2・第3日 10時のミサ終了後  
<http://www.kotonanoki.com/>

